

2020年4月、コロナウイルスが世界中で猛威を振っている中、新年度がスタートしました。中旬には緊急事態宣言が発表され、利用者（なかま）も通所を自粛。普段と違う生活に、戸惑うなかまの様子も多く聞かれました。また、自主製品の販売やリサイクル回収、下請けの作業が縮小され、なかまの工賃にも影響が出ています。現在は通常の生活に戻りましたが、引き続き、感染予防を徹底していかなければなりません。共幸講座をはじめ、地域の方々との交流の機会も未定となっておりますが、コムハウス・ねくすとのなかまは元気に通所しています。

「Theコムハウス・ねくすと」を通じ、今後もなかまの生活や活動を知っていただければと思います。

入所式

4月2日、ねくすとにて入所式が行われ、今年度は2人の新しいなかまを迎えました。感染症対策のため、ご家族とねくすとのなかま・職員のみでの参加となりましたが、言葉や歌で歓迎しました。



浅川 偉策 さん

まき作業やポスティングを中心に頑張っています。人と関わるのが好きで、なかまと楽しく過ごしています。

中野 澄空 さん

手先が器用で、ミシンでふきんを縫ったり、箱を折る作業を頑張っています。写真を撮ることが好きです。



♡♡♡♡♡

現在コムハウスには、カラフルで色々な種類のお花が飾ってあります。なかまが「創作の時間」に作りました。

5月17日の母の日に合わせメッセージが添えられている絵、ちぎったティッシュに絵の具で色をつけ、あじさいに見立てた作品。

室内にいながら季節の花を楽しむことができます。

♡♡♡♡♡



なかまの自主製品 コムハウス・ねくすとは、「どんな障がいがあっても、役割を持ち、働いて工賃を得る」ことを大切にして毎日働き、様々な製品を作っています。製品の売り上げは工賃になり、その工賃で映画や買い物に行くことを楽しみにしています。ここで働くなかまのみなさん一人ひとり、自分のできる仕事に自信と誇りを持っています。（裏面に注文・広告があります。ぜひご覧ください）